



玉名ロータリークラブ週報

2017
2
2018



ロータリー：
変化をもたらす

R I 会長	■	イアン H.S.ライズリー
地区ガバナー	■	永田 壯一
会長	■	吉永 博之
幹事	■	渡邊 太朗
公共イメージ向上委員会	■	西嶋 興生

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 30 年 2 月 15 日 No.2376

玉名RCメールアドレス jimu@tamanarc.org

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

【来訪者紹介】 吉永会長

- 公益社団法人全日本きものコンサルタント協会熊本県代表 江本貴美子氏
- 千蔵悠子氏、高木伊都子氏

【会長の時間】 吉永会長

先週の例会は欠席して申し訳ありませんでした。

今日は2月15日です。1905年2月23日にシカゴの1室にポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ロア、ハイラム・ショーレーの四人が集まって会合を開きました。この日にロータリークラブが誕生したそうです。この2月23日は創立記念日とされ、「世界理解と平和の日」ともされています。

この日各クラブは、国際理解・友情・平和へのロータリーの献身を特に認め強調しなければならない、とRI理事会決定ではうたっています。



「平和と紛争予防・紛争解決」という命題はあまりにも大きく重い課題です。ロータリーのような地域社会や国際社会のニーズにこたえていく団体はそれ自体が世界平和を目標としていますが、世界では紛争が途絶えた事がなくまた人種・宗教・政情・領土などの複雑な問題がベースにあるために、ロータリーの関わりが非常に難しいと言えます。そこで、RIは新しい奨学金制度である平和フェロシップで、毎年専門の紛争解決のエキスパートを養成して紛争解決への支援を続けているそうです。ロータリー平和フェローは、毎年世界中から選ばれる最高 100 人のリーダーが世界6つの大学で学び、紛争予防／紛争解決の担い手となり紛争地域や国連に派遣されます。

では、私たちロータリアンができることはなんでしょう？ロータリーは世界 200 以上の国や地域に存在し、123 万人のロータリアンがいます。国際理解と平和を推進するために海外のロータリークラブと友好を築き、様々な奉仕活動プロジェクトを行うことも紛争予防の一步かもしれません。

例えば「水と衛生」では綺麗な水を常時提供することにより、公衆衛生的な観点から「病気の予防」に繋がります。また今月、当玉名ロータリークラブが行うタイ自転車贈呈プロジェクトは、通学の時間が短縮され教育を受ける時間が増えれば「識字率の向上」が期待でき、就業率が上がり「経済・地域社会の発展」が期待できます。もちろんそう簡単に平和構築ができるとは思っていませんが、ロータリアンができることを地道に考え行動を起こすことは「千里の道も一歩から」の例えのように、少しずつ歩みを進めていくことこそ大切なことではないかと思えます。

【幹事報告】 渡邊幹事

○熊本北 RC より、例会変更のお知らせが来ています。

日時：2月15日（木）18：30～

場所：割烹笹のや

○ハイライトよねやま 215 が来ています。

○第 69 回金栗杯玉名ハーフマラソン大会についてのご案内 3月4日

スタート時間 ハーフマラソンの部（一般）10：30

10キロの部（男子）10：32、 10キロの部（女子）10：37

コース ハーフマラソンの部：玉名市役所庁舎前～玉名市横島町新明辰橋折り返し

男子 10キロの部：玉名市役所庁舎前～玉名市伊倉南方折り返し

メイン会場 玉名市役所庁舎・市民会館一帯

○一般社団法人ロータリーの友事務所より

2018-2019 ロータリー手帳お買い上げのお願いが来ています。

【スマイル報告】 吉田彰男委員長

千蔵悠子様・・・江本貴美子様の卓話、ありがとうございます

高木伊都子様・・・江本貴美子様の卓話、ありがとうございます

吉永会長・渡邊幹事・・・江本貴美子様、千蔵悠子様、高木伊都子様のご来訪心から歓迎いたします。江本様の卓話、ありがとうございます。

千蔵さん・・・江本先生には我が家三世代お世話様になっております。

高木幸さん・・・江本先生ご多用の中、ようこそおいでいただきました。卓話よろしくお願ひします。

高木孝さん・・・千蔵悠子様・高木伊都子様ご来訪心から歓迎いたします。

江本様の卓話、ありがとうございます。

渡邊知さん・・・江本様、千蔵様、高木様ご来訪心から歓迎いたします。着物姿は本当に良いものですね。

世界に誇れる日本の文化伝統と思ひます。

小篠さん・村上さん・・・着物コンサルタント代表江本貴美子様の卓話楽しみにしております。

千蔵様、高木様の奥様ようこそ！

松本さん・・・江本貴美子様、千蔵悠子様、高木伊都子様のご来訪心から歓迎いたします。

江本様の卓話ありがとうございます。会議の為中座します。

嫩さん・吉田光さん・山田司さん・吉岡さん・鶴田さん・吉田彰さん・井上さん・坂梨さん

福田さん・浜田さん・大石さん・・・江本貴美子様、千蔵悠子様、高木伊都子様のご来訪心から

歓迎いたします。江本様の卓話、ありがとうございます。

前回までの累計 ￥598, 000

今 回 ￥ 27, 000

合 計 ￥625, 000

【出席報告】 鶴田副委員長

本日の出席	会員数	52 (49) 名	欠席者	深見 本田 堀本 廣田 古賀
	出席数	27 名		松崎 宮本 村田 前島 野田
	出席率	55.10%		小関 小山 志賀 杉谷 品川 田中 浦田 上村 上田継 山田邦 山口 山村
前回の出席	前回出席数	34 名	前回のメイクアップ	
	修正出席数	34 名		
	修正出席率	69.39%		
出席規定適用免除者		7 名		

【今後のプログラム予定】

2/22 卓話 「今さら聞けないスーツの基本&マナー」

(株) スマートブレイン 代表取締役 大木貴博氏

【卓話】高木幸委員長

今日2月15日はお釈迦様が亡くなられた日で、「涅槃会（ねはんえ）」と言います。覚えておいてください。1996年より必由館高校にて、和服着装と礼法の非常勤講師を務めておられます。他の学校でも社会人マナー・礼法について教鞭を執られております。また文化庁委嘱事業である、伝統文化こども教室の熊本市実行委員会代表や海外文化施設団として100名規模にて、アメリカ・カナダできものパレードやきものショーに参加されてるなど、国内外にご活躍されています。現在は、公益社団法人全日本きものコンサルタント協会熊本県代表であり、日本の伝統文化の普及にご尽力されています。



公益社団法人全日本きものコンサルタント協会熊本県代表 江本貴美子氏

いま世の中は様々な繁栄や眼の前のきらびやかなことに目を奪われがちですが、日本人の精神文化、誇れるものは「きもの」です。この民族衣装には洋装とは違う叡智と知恵がこめられています。ところが今は知識だけが先行してしまい鈍感になってしまったようです。



これだけ世界に誇れる精神文化がありながら、道を見失っているような家庭の有り方などが問題になってます。これは学校教育にもです。昔は先生というのはとても大きな存在でした。でも今は残念ながらそうではありません。子供たちにとってかわいそうな時代に入ってきました。そんな時だからこそ、精神文化である和装文化・礼法教育を推進しなければならないのではないかと思います。

「念ずれば花ひらく」という言葉があります。潜在意識の活用、イメージしたことは必ず実現する！と、尊敬する私達の会長はそう断言します。わたくしもそう思います。愛すること、欲がないことでイメージしたことは叶うと思います。想いを叶えること、そこで大事なことは「学校教育」だと思います。世は天と地が存在します。人はその真ん中にあります。天を敬え、地を敬うという教えを教育していかないと、間にはさまれた人というのは真っ直ぐに育っていかないのです。この現代は愚かな光景を見ることがあります。お母さん方の言葉使いにしる、上下関係での敬語など言葉の使い方などですね。戦後日本はなんでもいいでしょうの時代になりました。そんな日本の戦後最大の損失は「礼」です。経済発展もいいでしょう、でも一番取り戻さなければいけないのは日本の心を蘇らせる、「精神文化」です。これこそが世界平和へ貢献するものだと確信しています。

日本の伝統文化、その中で民族衣装のきものの着装やその背景を学ぶ過程の中で、きものに込められた日本独特の「身を包むという文化、結ぶという文化」を奥深く知らされました。日本人でありながら我が国の先人の残してくれた文化の本質を今知ってる人がどれだけいるでしょう？戦後西洋文化の物質主義に日本の誇りとする精神文化があらゆるところで置き去りになり、現代の心の空（くう）の時代を到来させたと言っても過言ではありません。モノではなく心の精神性を高めることが安定をもたらすのです。

わたくしは民族衣装であるきもので身を包むということだけではなく、人の心を包み込むという文化を大切にします。互いに心を結ぶ、縁を結ぶ、愛の結びの文化を通して、愛と美と礼の大切さを社会に巣立つ前の若い人に伝えねばならないと思います。日本は昔から学問を大切にしてきました。近代では学問は学歴にすり替えられてしまいました。また知識はあっても「知恵」が備わなければ何もなりません。これからの人間の真の発展には「知恵を学ぶ」ことだといわれます。そこで日本の伝統文化の学習は少しでもお役に立てるのではないかと考えます。教えてあげると生徒を見下すのではなく、人に教えるということは教えられるということです。教えさせていただくという自覚を持って、感謝の心を忘れず愛の心を引き出すという真の教育を心掛けています。

今から17年前わたくしは熊本の高校できものの着装とマナーの授業として週に二時間、非常勤講師をさせていただきました。これからの時代を担う一番大事な心を養うために、民族衣装に込められた叡智を通して私がお役に立てればと思いました。私は学生の頃、重い病のために運動ができない時代があり、また父との別れもあり苦しい時期がありました。このとき生きるために閃いたものがありました。我が身が助かった、丈夫の身であれば人をも救ってみたい、そのために少しでもお役に立てたと実感できたときに「生きがい」を感じることができる、というものでした。長いこと講師をさせて高校生との出会いの中で毎年感動をいただいております。1年間の最後の授業の時に生徒から感想文をいただきました。そのひとつを読ませてもらいます。

先生のお話し、授業がほんとに楽しみでした。毎回、自分の心がきれいになっていくのがわかりました。学んだことはきものの着装だけではないのです、女性としての生き方、人との接し方、感謝すること、集中する力、きりがありません。先生の言ったことを忘れずに、人の明かりとなるよう接していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

わたくしはいただいた感想文を読むたびに、生きる力としてお役に立てる、もっと広めねばと強く意識しました。純な感性を持つ若い人はただ詰め込むだけの教育ではなく、心を豊かにするその精神に飢えていたのだと思いました。若い人達はどうせわからない…というのではなく、ただ乾いている、飢えているというふうに感じました。情報を得るのに今は便利な時代になりました。でも知恵を学ぶにはいかがでしょうか。だから人はそれぞれを認めあう、その空気感が人を成長するのではないのでしょうか。人は教えあってこそ育っていく生き物です。私達日本人としてきものを毎日着ましようということではないのですが、日本が失いそうな礼やマナーを持つことは、尊敬と感謝の心を持ち、神仏や大自然に生かされてる人間同士は謙虚な気持ちで接していくことを知ることで。これが礼法やマナーの本質なのです。

「和装文化を通して心豊かな美しい感性を蘇らせる」

装いを道に高めて技術だけに終わらず礼、道へと導くことにより、真の美しさはきもの表面にあるのではなく静かなるきもの内面に動めく心の姿勢力のあり方により凜としたデザインとして完成される。

「襟を正す」「折り目正しく」どちらもきもの用語から生まれた「礼」を表す言葉です。今日本人のどれだけの人が意味を意識しているでしょうか。天と地の間に生かされ守られた人として命を大切に、周りに敬意と感謝の心を持つ「おかげ様」という心を蘇らせ、人々との温かい絆に育まれた目を輝かせる子供たちが真の日本再生への祈りとなることを願っています

目先の情報や電磁波の飛び交う時代に、愛や美や礼や和の心という精神文化は心の軸を学び安定をもたらし真の繁栄、幸福に至ることを確信し、和装、礼法、マナー、教育に努力してまいります

